

有賀長雄 （幼少） 國際法學者、法學・文學博士。萬延元年十月一日攝津國生れ、大正十年六月十七日歿（二六〇―一九二）。父詩歌人有賀長隆。

明治九年東京大學法律專門に入り哲學専攻。大學校御用掛、元老院書記官を経て十九年歐洲留學。歸國後極東出版書記官、農商務省特許司長歴任。二十九年陸軍大學校教授。日露戦争には國際法顧問、大正二年袁世凱の法律顧問となる。

著譯書 『示教進化論―社會學卷一』（明治十六年十一月東洋館書店）、

『文學叢書』（第一冊―文學論・明治十八年八月、第二冊―聖門哲學

論上・十一月白刊、丸善尙社書店）、斯邊撒（ハルベルト、スベンセ

ル）著 『標』 『斯氏教育論』（譯註、校正再版・明治二十年二月牧野善兵

衛刊）、『雄辯 大家實地演說集』（合著・櫻井鎌造編、明治二十一年二月

一日石川傳吉刊、正文堂發兌）、『（日本） 國家哲學論』（明治二十一年八

月二十八日牧野書房）、（編） 久松義人著『近代哲學（上卷）』（譯、再版

・明治二十一年十一月 （高橋基一） 八尾新助刊、日本書籍會社）、『帝國憲法論』

（明治二十一年四月）二十五日 （牧野善兵衛） 東京 （荒） 二郎刊）、『日本古代法釋義』（明

治二十六年四月十五日牧野書房）、『日本政治史・卜篇』（山澤俊夫

編、明治二十六年六月八日東京專門學校）、『萬國戰時公法―陸戰條

規』（明治二十七年八月十五日陸軍大學校）、『近時外交史』（明治

二十一年）二月十五日白刊、東京專門學校出版部「早稻田叢書」（、『帝

國憲法講義』（明治二十一年九月十七日講法會）、『軍國心於ける警

察官の心得―附録憲法法規』（明治二十七年）二月十九日警眼社）、『法

制經濟講話』（合著、明治四十年五月八日早稻田大學出版部「早稻田

通俗講話」（、『（増） 日本古代法釋義』（編、明治四十一年七月）二十六

白樺文館)、有賀長隣著『竹のまゝの枝』(内題「竹の下枝」明治四十一年十月)『千八百有賀長文共刊』、『支那止觀』(大正十一年二月五日雄文堂出版部)等。

文獻、曠尾白守著『心理不滅論』(有賀長隣著『京教進化論辨妄』)『明治二十八年八月)『千八百杉浦虎治刊、折田書院發兌』等。